防災会 平成 21 年度 重点実施計画

第42回定期総会 第2号議案 平成21年度の活動計画より抜粋

.活動方針(案)

1.基本方針(理念)

平成 21 年度は、過去 40 年余の当自治会の積み上げた歴史を重んじ、その基盤をもとに急速に進む高齢化社会への対応、不慮の災害への対応、安全で安心な地域づくりを目指して活動致します。 本年は、福祉問題への取組み強化、会員相互の扶助・親睦を基礎として、次世代の為に継続性のある自治会活動の推進を図ります。

2. 運営構想

A. 自主防災組織 A/B防災会(概要)

平成 16 年に結成以来不慮の災害等の為に、防災意識の高揚、防災訓練の実施、及び防災資機 材の整備が着実に実施されてきました。

幸いに大きな災害・火災等の発生は無く経過いたしましたが、大地震は何時起きても不思議はないと言われています。

災害時にこそ役立つ、身近な自主防災組織・防災会として訓練等を行なって、更に充実を図って行きます。

防災意識の高揚・防災訓練等は20年に引続き春秋2回及び防災の日訓練・地域共催訓練等を 実施します。資機材の購入については20年度までに適度な備蓄が成されて来ているので、本年 は予算に見合った範囲で検討の上実施します。

3. 自主防災組織 (A/B 防災会) 21 年度 重点実施計画

21 年度も、引き続き防災訓練や防災意識の高揚・資機材の整備を行い、何時起きるかわからない災害に備え役立つ自主防災組織(防災会)の充実を図るために、下記の重点実施計画を設定致します。 本年も計画実施に当たっては、「調査実施チーム」「訓練実施チーム」「備蓄実施チーム」の部門に分けて活動いたします。

[表2-1、2-2、2-3参照]

「表2-1] 調査実施チーム

実施項目	実施事項	目標値・次期	期待効果	
防災井戸の維持・管理	・20 年度に 2 ヶ所を加えて、5 ヶ所体	・指定井戸保有者との確認、	・非常時に支障最小限にす	
	制の維持・管理を行う。	覚え書の交換 (上期)	るために調査実施する。	
	・域内での災害時使用可能な井戸の登	・点検・揚水テストの実施		
	録(再調査)	・6~7 月訓練チームと合同		
消火器関係 事項	・自治会内消火器、2・5・7・9・11	・上期に設置実施	・設置場所の周知を図る。	
	班に各1本配置する。		防災マップの作成、地域	
火災警報器の設置	・まだ付けていない家庭調査	・上期に実施・斡旋する。	の安全性の向上。	
要援護者への支援対策	・要援護者の(班別)調査リスト作成	・非常時に活用できるマニ	隣近所の連携・井戸端会議	
	本年度の調査	ュアルおよび支援マップ	的・向こう三軒両隣・風通	
	・民生委員・福祉担当Gと協力して実	の作成 (年間)	しの良い近隣関係をつく	
	施する。		る・班会議が大変重要。	

[表2-2] 訓練実施チーム

防火・防災 PR.講話 防災講話を行う。花見川消防署の指導	5月防災訓練のとき	防火・防災意識の高揚。
-------------------------------	-----------	-------------

防災訓練の実施	初期消火・通報訓練・自動消火ポン	5月中、柏井小学校	防火。防災意識と技術の
	プの放水訓練・防災講話		習得・体得を目的とする。
	防災井戸使用揚水訓練・資機材点検	6 ~ 7月実施	5ヶ所、円滑な技術の習
	ふるさと祭り発電機支援	7月18・19日	得。
	救命救護訓練と防災座談会、資機材	11 月集会所内外で実施	実地体験で技術の向上、
	点検・試運転		救済効率を高める。
	小型自動ポンプ(柏井小G)操作マ	21 年度中に実施	多くの人が取り扱えるよ
	ニュアルの作成、同様に発電機操	作成担当者を決める。	うにして、災害時に対応
	作、チエンソー操作も作成する。		する。
その他訓練・行事への	防災の日訓練への参加	9月1日実施開催場所不	より多くの人に参加して
参加	参加人員を動員する。	明	もらい地域防災の効果を
	防災リーダー研修・講演会	年/1~2 回	上げる。
	防災・消防フェア年 / 2 回、	イ .1 / 17 柏井小学校G	同上
	イ .「防災とボランティア対応訓練」	にて ロ.2月鷹の台C	同上
	口.防災防火訓練。	C敷地内にて実施	

<p-21>

〔表2-3〕 **備蓄実施チーム**

	· –		
備蓄資機材の購入	21年度購入予算 10万円程度	上期に実施	市助成金残金は無いが
	(自治会内増設消火器を含む)	見積り取り寄せ後、購入	緊急必要品は予算計上の
	購入品	計画を立案する。	上購入する。
	イ.薬・薬剤関係(薬箱)三角巾		
	D. 消火器・格納箱 5 セット		
	1.発電機(予算内で)		